令和８年度　　長浜北星高等学校定時制　学校評価

本年度の重点目標

・生徒の能力の更なる向上を図るため、基礎・基本を大事にし、指導方法の工夫と改善を行う。
・生徒や保護者が「本校に入学してよかった」と思えるような活力と魅力のある学校づくりに努める。
・生徒の能力・適性を見極め、進路希望の実現に向けた指導を行う。
・家庭や地域の専門機関との連携を強化し、生徒の状況把握に努める。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	教職員間の相互理解と協力関係に基づく教育活動を行っている。	A		
	教職員間で日常的に教育課題について話し合っている。	A		
2　学習指導	生徒の学習意欲を喚起する適切な評価を行っている。	A		
	わかりやすい授業を目指し、授業の方法などについて工夫・改善に努めている。	A		
3　生徒指導	生徒の問題行動を防止する早期指導に取り組んでいる。	A		
	生活指導上の問題について家庭や関係機関との密接な連携を取っている。	A		
	防災避難訓練をはじめ生徒の命と安全を守るよう指導している。	A		
	学期ごとに生徒アンケートを実施し、いじめ問題の防止および早期発見・早期対応に努めている。	A		
4　進路指導	生徒の希望進路実現に向けて指導を行っている。	B		
	ＬＨＲや授業などあらゆる場面を通して、望ましい勤労観、職業観などの育成に努めている。	A		
5　特別活動等	学校行事や生徒会活動を積極的に行っている。	A		
	学校行事を生徒にとって魅力あるものとするため、教職員間の意思疎通を図っている。	A		
6　学校図書館	生徒が読書に親しめるよう努めている。	B		
7　保健・安全指導	全職員が生徒に積極的に声をかけ、生徒に寄り添った指導をしている。	A		
	あらゆる教育活動を通じて、生徒が健康を自己管理できるよう指導している。	A		
8　人権教育	明るく生き生きとしたクラスや学校づくりに努めている。	A		
	人権統一ＬＨＲや共同鑑賞等により人権意識を高める指導を行っている。	A		
9　環境教育	こまめな電源オフや裏紙利用など光熱水費等の節減に日頃から配慮している。	A		
	ごみの減量化と分別収集の徹底を図っている。	A		
10　事務・管理	学校の施設・設備を、公共心に基づき、適正に使用している。	A		
	校内マニュアルなどに従い、諸文書や生徒個人情報の管理を適切に行っている。	A		
11　その他 学校の取組	社会規範や市民道徳を守るよう、生徒を指導している。	A		
	保護者との連携を密にすることで、信頼関係を築くように努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.hokusei-h.shiga-ec.ed.jp/